

受け身の10分小テスト
(標準・20点)

Class_____ No._____ Name_____ 得点_____/20

 このテストのゴール：主語が「する側・される側」かで文の形を選び、身の回りのものを受け身で1文書ける
語群なし。自分の力で形を思い出して書きます。 まちがえた問題は、テストのあとが本番—裏面のふり返しまでで1セットです。

I 場面に合うほうを○でかこもう。(各3点・計12点)

(1) 給食の時間	Rice (is eaten / eats) in many countries.
(2) 世界で人気の作品	This anime (loves / is loved) by fans around the world.
(3) 毎週の手伝い(注意!)	My father (is washed / washes) his car every Sunday.
(4) 古いお寺	This temple (built / was built) about two hundred years ago.

2 対話を完成 ALTの先生に校内を案内中。()に1語ずつ。(各2点・計6点)

A: What's this room?
B: It's the music room. It (①) (②) by the brass band every day.
A: I see! When was this school built?
B: It was (③) in 1980.

3 自分の番 身の回りのものを受け身で1文(is/are+過去分詞)(2点)

1 場面を選ぶ／正しい形

(1) is eaten (2) is loved (3) washes (洗う側が主語＝ふつうの文) (4) was built

(3)は「お父さんが洗う」＝する側が主語→ふつうの文のまま。受け身の单元でも全部を受け身にしない。

2 対話を完成

① is ② used ③ built

①②は「be動詞＋過去分詞」のセット。③は過去の受け身一時制はbe動詞が背負う。

3 自分の番（例）

This tablet is used by all students. / This bag was made in Italy.

内容は自由。文法が正しく、条件を満たしていれば正解にする。

☆採点と使い方 配点＝1:各3点／2:各2点／3:2点（計20点）。16点以上＝合格ライン、12点未満＝定着ドリルの「まちがい診療所」からやり直すのがおすすめ。同じ場面・同じ測る力で基礎・標準・発展の3枚があるので、再テストや個別対応は別の難易度で行えます。

